【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【公開番号】特開2017-192044(P2017-192044A)
【公開日】平成29年10月19日(2017.10.19)
【年通号数】公開・登録公報2017-040
【出願番号】特願2016-80656(P2016-80656)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｒ　1/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　1/40　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　3/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　1/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｒ　1/00　３２１
Ｈ０４Ｒ　1/40　３２０Ａ
Ｈ０４Ｒ　3/00　３２０
Ｈ０４Ｒ　1/02　１０７
Ｈ０４Ｎ　7/18　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月3日(2019.4.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
全方位の音を収音するマイクアレイシステムであって、
複数の孔が形成された面を有する筐体と、
前記複数の孔に挿通され、前記筐体の面に表側から露出するように取り付けられた複数のマイク素子と、
前記複数のマイク素子の側面及び背面を包囲する複数のゴム部材と、
前記ゴム部材を前記筐体の面の裏側から押圧する押圧部材と、
を備え、
前記筐体の面と前記マイク素子の収音面とは同一平面上に位置し、
前記筐体の前記孔の内壁は、前記筐体の面と垂直であり、
前記筐体の前記孔の内壁及び前記マイク素子の側面への押圧力が、前記押圧部材の押圧方向での位置により異なる、マイクアレイシステム。
【請求項２】
前記筐体の表ケースの面と前記マイク素子の収音孔が設けられた面とが、同一平面上に位置する、
請求項１に記載のマイクアレイシステム。
【請求項３】
前記マイク素子の収音孔が設けられた面は、防水性と透湿性とを両立させた防水膜に覆われている、
請求項１または２に記載のマイクアレイシステム。
【請求項４】

前記筐体の表ケースの面と前記マイク素子の収音孔が設けられた面とは、前記マイクアレイシステムを支持する支持台が設置される設置面に対して斜めに配置されている、
請求項１～３のいずれか１項に記載のマイクアレイシステム。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項に記載のマイクアレイシステムであって、更に、
前記ゴム部材の側壁は、前記マイク素子の前記背面から前記収音面に向かって縮径したテーパ状に形成され、
前記ゴム部材は、前記筐体の孔に挿入された状態で、前記側壁が前記筐体の前記孔の内壁と沿い、前記筐体の面と垂直となる、マイクアレイシステム。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項に記載のマイクアレイシステムであって、更に、
カメラ装置を備え、
前記筐体の面の中心部に開口部が設けられ、
前記カメラ装置は、前記開口部に取り付けられ、
前記複数のマイク素子は、前記筐体の面の周縁部に円周方向に配置された、マイクアレイシステム。
【請求項７】
全方位の音を収音するマイクアレイシステムの製造方法であって、
複数のマイク素子の側面及び背面を包囲する複数のゴム部材に、前記複数のマイク素子を収容し、
前記マイクアレイシステムの筐体の面に形成された孔に、前記孔の内壁に前記ゴム部材の側壁が当接し、前記マイク素子が前記筐体の面に表側から露出し、前記筐体の面と前記マイク素子の収音面とが同一平面となるように、前記筐体の面の裏側から押圧部材により前記ゴム部材を押圧し、
前記筐体の前記孔の内壁は、前記筐体の面と垂直であり、
前記筐体の前記孔の内壁及び前記マイク素子の側面への押圧力が、前記押圧部材の押圧方向での位置により異なる、マイクアレイシステムの製造方法。